

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子ども音楽療育演習	演習	1	朝野 典子
【授業のテーマ及び到達目標】 障害のある子どもを対象とした音楽療育の実践方法に関する基礎知識、専門知識、技術・技能を習得する。発達援助を目的とした音楽の使い方、障害種別、形態別(個別・集団)の療育の具体的な方法を学び、楽曲や楽器の活用法、身体活動と音楽との関連を視野に入れた実践方法を習得する。			
【授業の概要】 内容に応じてグループワークをおこなう。			
【全体の授業計画・内容】			
1. ガイダンス 授業方針の説明等			
2. 療育への音楽の活用法			
3. 音楽の特性と障害児の理解について			
4. 障害児への音楽療育			
5. 音楽療育に使用する楽器と演奏方法			
6. 鍵盤楽器などの基本的奏法(コード伴奏法を含む)			
7. 身体活動における療育的な音楽の使い方			
8. 子どもの歌を用いた基礎技術技能			
9. 発達援助のための展開方法①(楽器を用いて)			
10. 発達援助のための展開方法②(手あそび・歌あそびを用いて)			
11. 療育への音楽活用法(事例検討)			
12. 障害種別、形態別(個別・集団)の療育実践方法①			
13. 障害種別、形態別(個別・集団)の療育実践方法②			
14. 障害種別、形態別(個別・集団)の療育実践方法③			
15. まとめ			
【準備学習の内容】			
予習のあり方: 授業時に配布する楽曲を予習し、実践に向けた分析を行う			
学習のあり方: 主体的に技術・技能の習得に取り組む。			
復習のあり方: 技術・技能を向上させるため、継続的な復習を行う。			
【成績評価】			
平常試験(50%)、授業での実技発表(30%)、授業態度(20%)			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
小テストやレポートにコメントを記入し返却する。			
【テキスト】			
授業中に適宜プリントを配布する。			
【参考文献】			
授業中に照会する。			